

10月定例教育委員会会議録（要点）

日 場	時 所	令和4年10月7日（金）9時30分 庁舎第3別館2階 会議室
出席委員		教育長 田坂敏、委員 山本泰正、委員 長井俊朗 委員 仁志川由香里、委員 竹田美和
会議に出席した者の職・氏名		副教育長 秋山直人、教育大綱推進課長 松本典久、 学校教育課長 山川博一、生涯学習課長 木村仁士 学校給食課長 阿部孝文、教育大綱推進課長補佐 渡部さおり
傍聴人		報道1社1名
議 題		議案 議案第41号 今治市文化財保護審議会委員の委嘱について 議案第42号 令和5年度（令和4年度実施事業対象分）の教育に関する事務の点検及び評価報告の改善（案）について
田坂教育長		午前9時30分、開会を宣す
田坂教育長		日程番号1、9月教育委員会の会議録を承認してよいか問う
—各委員—		承認する
田坂教育長		日程番号2、会議録の署名委員に、山本委員、仁志川委員を指名する。
田坂教育長		日程番号3、教育長報告を行う
田坂教育長		質問はないか問う
—各委員—		なし
		<議題審議>
田坂教育長		「議案第41号 今治市文化財保護審議会委員の委嘱について」説

	明を求める
木村生涯学習課長	—「議案第41号 今治市文化財保護審議会委員の委嘱について」説明—
田坂教育長	質疑はないか問う
—各委員—	なし
田坂教育長	承認してよいか問う
—各委員—	承認する
田坂教育長	「議案第42号 令和5年度（令和4年度実施事業対象分）の教育に関する事務の点検及び評価報告の改善（案）について」
田坂教育長	<p>「点検評価報告書」につきましては、R4.8.26開催の9月定例教育委員会で議案として上程し、承認を得ておりますが、8月定例教育委員会終了後の事前協議、及び、9月定例教育委員会で種々の意見が出ておりました。</p> <p>今回、愛媛県及び県内各市の取組状況について事務局で調査しておりますので、その報告をさせていただいたうえで、来年度からの改善に向けて整理を行いたいと思います。</p>
秋山副教育長	<p>この問題につきましては、8月、9月に続きまして、今月も議題としてとりあげていただいておりますこと、誠に申し訳ございません。</p> <p>本来なら委員の皆様方に様々ご意見を頂戴して教育大綱の推進に取り組むべきところ、こうした形になってしまいましたこと、改めて謝罪いたします。申し訳ございません。</p> <p>この後、担当課長より詳細についてご説明申し上げますので、よろしくご審議いただければと思います。</p>
松本教育大綱推進課長	—「議案第42号 令和5年度（令和4年度実施事業対象分）の教育に関する事務の点検及び評価報告の改善（案）について」説明—
田坂教育長	意見はないか問う
山本委員	事務局の方には、ご案内いただいたときに、若干聞いていたましたが、ようやく、新しい委員をお迎えして、新しい体制で、私も初心

に返って、もう一遍、生徒真ん中で、今治市第二次総合計画（後期基本計画）方針に沿った大綱の実現に向け、やっていきたいというふうに、ちょっと、勇気がわいてきました。ご苦労さまでした。ありがとうございました。ぜひ、方々よろしくお願ひしたいと思ひます。点検評価は、自治体によって区々でございました。評価をする時に陥りがちなのが、寛大化傾向、中心化傾向、論理錯誤、ハロー効果等の陥りやすい間違いに留意しながら、人事考課の場合は、査定のための評価ではなく、本人の能力開発に資することができるように評価をする、それが主旨ですが、やはりこの点検評価も、より良い、学校教育の実現に向けて、そういう上昇志向で、運用の方もよろしくお願ひをしたいというふうに思ひます。以上です。ありがとうございました。

田坂教育長

質疑はないか問う

長井委員

今回、山本委員からご提案いただいたことで、すべての関係者が点検評価等に係る原則を改めて確認することができました。それを踏まえて、愛媛県及び県内各市の取り組み状況を調査したうえで、KPIによる達成度を基に評価を行うことや、スケジュール等の改善案を、事務局が提示したことは、次年度以降のよりよい点検評価の実施に繋がるものと期待しています。山本委員に改めてお礼を申し上げますとともに、事務局の労を多とするところです。

ただ、事務局に対してあえて一言申し上げておきます。各教育委員は、子どもたちの将来につながる、よりよい教育環境が整備されることを願って、様々な視点から各種の提案をしております。したがって、多種多様な業務に忙殺されている状況であることは理解しておりますが、今後は、その提案を真摯に受けとめ、これまで以上に、丁寧に、しかしスピード感をもって対応していただきたい。今回の事案を契機として、教育委員と事務局員がお互いの信頼関係をさらに構築し、その温かな関係をベースとして、児童生徒や先生が学びやすいような環境を整え、現場を支えてまいりたいと考えます。

また、数値目標は、俗な言い方ですが、首を絞めるところがありますから、先ほど教育大綱推進課長がおっしゃったように、数字にこだわりすぎず、随時見直しを行い、柔軟に対応していくということを改めてお願ひしておきます。委員を拝命して日が浅いのですが、今後ともどうかよろしくお願ひします。

田坂教育長

意見はないか問う

—各委員—

なし

田坂教育長	承認してよいか問う
—各委員—	承認する
田坂教育長	<p>なお、資料 2-①は、県・各市に調査結果公表を前提とせず協力をいただいたものですので、この資料は非公開としてよろしいですか。承認して頂ける方は、挙手をお願いします。</p>
—各委員—	挙手
田坂教育長	<p>全員賛成と認め、この資料は非公開といたします。 それでは、傍聴の皆様の資料を回収させていただきます。</p>
田坂教育長	10時24分、閉会を宣す。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

山本委員 山本 泰正

仁志川委員 仁志川 由香里